

## 日本骨髄バンクの現状（2023年2月末現在）

	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,582	2,647	544,334	919,679
患者登録者数	193	225	1,761	66,106
移植例数	67 [19]	79 [20]	—	27,429[1,803]

- 2月年代別ドナー登録者数（現在数）
  - 10代 3,755人
  - 20代 87,669人
  - 30代 135,936人
  - 40代 217,202人
  - 50代 99,772人
- 2月の20歳未満の登録者 276人

※[ ]内は末梢血幹細胞移植の実施数（国際間含む）

- 区分別ドナー登録者数：献血ルーム 688人、献血併行型集団登録会 1,884人、集団登録会 20人、その他 55人
- 末梢血幹細胞移植累計数：1,751件（国内ドナー⇒国内患者、2023年2月末時点）

## 1 「チャンス」を2023年4月に大幅改訂

ドナー登録のしおり「チャンス」を2023年4月に大幅改訂します。  
今回の改訂では、構成と内容の両面を見直しました。



ドナー登録を考えている方にとって、より重要な情報（「ドナー登録の要件と手順」、「適合から提供までのスケジュール」、「採取の方法」、「リスクと補償」など）を前方に移動し、掲載ページが一目で分かるよう目次を設けました。

内容については、「最終同意後の撤回についての考え方の変更」が最大のポイントです。

「撤回できない」と明記して撤回を防ぐのではなく、撤回がもたらす患者へのリスクを説明し最終同意の重要な意味を理解していただくことで、ドナーの自由意思を尊重しつつ、撤回を防ぐ内容へ変更します。

4月1日以降に、都道府県等の自治体および保健所等登録受付等窓口の各拠点に2023年度版を送付します。混在を避けるため、2022年度版は2023年度版の到着次第速やかに廃棄をお願いいたします。

## 2 ドナー助成制度導入、939自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体で導入されました。全国で939自治体になります（2023年3月15日現在）。助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02\\_donation/donor\\_municipality.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02_donation/donor_municipality.pdf)

○宮城県塩竈市、利府町 ○熊本県天草市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町